

<b>1 学校教育目標</b>
<p>世の光、地の塩となる有意な人間を育成すること、一人ひとりを大切にし、その可能性と個性を 発展させるために、以下のことを理想とし人間形成をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない人間の価値を自覚し、自由な人格として自立する</li> <li>・神から受けた生命や可能性を大切にし、できるだけ発展させる</li> <li>・自分をとりまく人や物に感謝し、尊び、他の人と共存・共感する意識や感性を養い、自分の持 っているものを分かち合う</li> <li>・神、即ち人間や自然を生んだ大きな存在に気づき、感謝する</li> </ul>

<b>2 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題</b>
<p>◎萩光塩学院創立時の教育理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実させて いく。</p> <p>◎建学の精神を継承し、発展させる責任を分かち持つ。</p> <p>◎共同体の一員として、自分の役割を自覚し、皆で一致してカトリック教育に取り組む。</p> <p>◎新しい萩光塩学院へ生まれ変わる準備をし、勇気を持って踏み出す。</p> <p>○保護者や地域に信頼される学校を目指す。</p> <p>○好ましい人間関係の育成や社会性を育む教育を充実させる。</p> <p>○確かな学力の定着をはかる。</p>

<b>3 取り組みとそれに対する評価</b>	
国際交流	<p>客船カレドニアンスカイ来萩歓迎セレモニー</p> <p>萩市からの依頼で、カレドニアンスカイに乗船する外国人を歓迎するセレモニーで、本校生徒4名が司会や萩市の紹介をした。大変好評で萩副市長からもお褒めのことばをいただいた。来年度も依頼されている。</p>
	<p>スカウトジャンボリーへの参加</p> <p>平成27年7月下旬から山口県で行われる世界スカウトジャンボリーでのボランティア参加を呼びかけるために県の担当が本校体育館で説明会を行った。担当者の熱い呼びかけにより、本校から多くのボランティア参加希望者が出たが、他校ではそれほどでもなく、8月と1月に行われたグローバルチャレンジや、11月のミニジャンボリーなどでも本校生徒の活躍が目立つことになり、県内の高校に「光塩」の名前を広めることができた。</p>
	<p>インドネシアからの留学生</p> <p>今年で3回目となるインドネシアからの留学生の受け入れを6月に行った。生徒は交流を楽しみにしていたようで、積極的に関わっていた。3日という短い交流だが、生徒にとって大きな体験となった。だが、他の行事と時期が近く不都合も生じるため、来年度は10月に行くことになった。</p>
	<p>インターナショナルワークショップ</p> <p>今年は30名の小学生が参加してくれた。毎年多くの小学生が参加しており、萩市内の恒例の行事として認知されているようだ。中学校の募集にもつながっているため、マンネリにならないように工夫しながら続けていきたい。</p>

総務	小中、中高の連携強化	今年も春休みに、小中、中高の連携を図るために、新入学生の各出身校を訪問した。出身学校からの情報を得ることができた。また、募集で年5回学校訪問する際も生徒の近況などの情報を学校に返している。さらに小中、中高で行う連絡協議会や研修会などに参加し、情報交換を積極的に行っている。この取り組みは続けていきたい。
	メール配信サービスの利用	まち comi メールシステムを利用して、緊急の連絡をすることを始めた。これまでの電話連絡網は引き続き利用するが、修学旅行の生徒の状況など、気軽な連絡にも使えるので、保護者へいろいろな情報を提供する手段として活用の仕方を広げていきたい。
	保護者との親睦	保護者と教員の親睦のために、今年度も6月にスポーツ大会と懇親会を行った。スポーツ大会には保護者18名、懇親会にも13名の参加があった。2月の懇親会は保護者12名とやや少なかった。 中学校では、保護者、生徒、教員での懇親会を7月と3月に行った。保護者と教員が協力して生徒を育てていくためのよいつながりができた。
教務	学習登校日、課外授業の充実	今年度の学習登校日は昨年同様に行ったが、その間に学習登校日のあり方を見直し、来年度からは土曜日を月2回程度、中学校と特進コースは登校日とし授業を行い、普通コースはこれまで通りの学習登校日として希望者に基礎力養成講座を開くことにした。また、平日の7時間目に特進コースは受験のための課外授業、中学校は5教科の授業を行うこととした。それにともない自学の時間は来年度から廃止することになった。
進路指導	進路意識（職業意識）を高める	今年度も業者の協力で「進路ガイダンス」を3回行った。希望する分野に分かれて、専門の先生から日頃の授業では聞くことのできない話を聞いたり、体験したりすることは、生徒にとってとても良い刺激になっている。
生活指導	外部からの苦情への対応	今年度も試験期間中の校外巡視を行った。まだまだ店舗などで時間をつぶしたり、食事をするなどマナーの悪い生徒がいるようだ。施設の方からは「光塩の生徒はきちんとしています」という声を頂くことも多い。施設との良い関係を保ちながら続けていきたい。
	交通安全教育	生徒の自転車の運転マナーで外部からの苦情があったことは残念であった。今年も交通安全教室を実施した。生徒達は興味を持って聞いていた。
教育相談	スクールカウンセラーの配置	今年度2学期から萩病院の武田先生にスクールカウンセラーをお願いした。様々な悩みや不安を抱えている生徒たちが少しでも充実した学院生活を送れるように支援していきたい。

募	中学校との連携	中学校訪問は5回行った。入試についての情報を教員間で共有しておく必要があるのでは、来年度は「Q&A」のようなものも作りたい。
集	保護者への情報提供	保護者向けの「光塩 Times」を小学生向けにも作り配布した。写真やイラストなども増え、宣伝効果があったように思う。
校友会	光塩女子学院との交流	姉妹校である東京の光塩女子学院との交流が、校友会を中心として始められた。お互いにより刺激となる関係を続けていきたい。

#### 4 保護者からの意見

##### 英語スピーチ大会（中学校）

入学して2ヶ月少しですが、皆、英語のスピーチを上手にできたと思います。先生方の指導力が素晴らしいと思います。

##### インドネシアからの留学生来校

楽しくて仕方なかったようです。生の英会話に、思わず何も出てこなかったそうです。とてもいい経験です。涙を浮かべてお別れをしたそうです。心が動く行事でよかったと思います。ホームステイを行ってほしいと思います。

##### スポーツ大会懇親会

中・高の保護者、先生が交流するのは、とてもよいと思いました。

##### 文化祭

子供たちが楽しんで学校生活を送っている様子がよくわかりました。光塩のよいところは中・高一緒のところですね。その特長を活かしていただきたいです。保護者をもっと見に行けるように曜日を考えてほしい。

##### 修学旅行

サイパンでのホストファミリーの方や、シスター方のおもてなしに感動しておりました。とても楽しく思い出深い旅になったようです。

##### 体育祭

今年から黄色いベストを着ての警備でしたが、とても目立ってよかったです。トイレが少なく、サンリブやデオデオまで行く人が多くあり不便であったので、使用できるトイレを増やしてほしい。

##### 開校記念日

教会での開催がよかったです。演奏もとてもよく、もっとたくさんの保護者が参加されると良いと思います。

##### バザー

放送などで、各イベント場所の様子をお客様にお知らせし、長い時間楽しんでもらうようにしたらよい。子供たちの元気・笑顔が学生募集につながります。駐車場のスペースの使い方はよかったと思う。

##### キャロルコンクール・クリスマス祝い

キャロルコンクールの歴史や内容についてホームページ等でも詳しく説明した方がよいと思います。先生に頼ることなく、子供たちの力で協力し合い頑張ったと思います。

##### カルタ会

カルタ会はとても良い行事なので、早めに覚えるのを取り組めば力になると思います。高校生と一緒にグループになってとても楽しかったと言っていました。男子のパワーに負けたそうです。内容や行い方についても、ホームページなどでももう少し詳しく説明した方がよいと思います。

## 校外生活

夕方サンリブ1Fのテレビの前で、テーブルに座っている生徒を見かけます。部活の前かお迎えを待っているのだと思いますが、態度が悪くならないように注意がいます。他校の生徒もいますが制服で学校がすぐ分かるため、きちんとおいた方が良いと思います。サンリブの踊り場などで飲食している生徒を時々見かけます。感じ悪いです。

## その他

友達関係など色々あるようですが、先生方に相談に乗ってもらったり話を聞いてくださったりして助かっています。子供も先生に話しやすいと言っています。

スポーツに関する交流会などを来年度以降も継続させてください。

知り合いの方に光塩はどう？と聞かれたら、自信を持ってすすめています。

学校に来ると必ず生徒から挨拶をしてくれます。とても嬉しかったです。

子供を光塩に入学させて本当によかったです。

オープンスクールの時、生徒が先生に友達のように話しかけていて、先生もそれを気にしていないようでした。もう少しけじめをつけてほしいと思います。

## 5 教員の自己評価

教育目標をもとに34の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行った。それぞれの項目について評価は1～5の5段階で行い、その平均を示した。1学期と3学期の2回行ったが、ほとんどの項目で3学期の方が評価が上がっている。

1. 平成26年度 重点目標等について			平均	
			1学期	3学期
1	重点目標	萩光塩学院創立時の教育の理念を理解するように努めた。	3.8	3.8
2		萩光塩学院創立時の教育の理念を具体化し、充実させた。	2.9	2.9
3		カトリック教育に取り組むことができた。	3.1	3.1
4		新しいことにチャレンジし、新しい萩光塩学院への取り組みができた。	3.4	3.3
5	重点事項	保護者や地域に信頼される教師として努力した。	3.5	3.8
6		好ましい人間関係の育成や社会性を育む教育を充実させた。	3.3	3.4
7		生徒の学力定着を図るため具体的な方法を考え実践し、成果がみられた。	3.3	3.5
8	めざす教師像	生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出し、のばすことができた。	3.2	3.5
9		受容的姿勢を大切にしながら、「是は是、非は非」とした指導ができた。	3.7	3.7
10		自分が萩光塩を背負って立つ気持ちをもって、仕事をすることができた。	3.5	3.6
11		具体的な目標に向かって、生徒とともに汗を流した。	3.2	3.4
12		家庭との連携を図り、信頼関係を築くことができた。	3.4	3.4
13		モラルの向上と綱紀の保持に努めた。	3.4	3.6
14		教科指導に積極的に取り組んだ。	3.6	3.8
15		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した。	3.4	3.6
16		自分の個性や特技を積極的に発揮した。	3.5	3.6
17		自分の役割を自覚し、責任をもって職務を全うした。	3.7	3.8
18		組織の一員であることを自覚し、助け合うことができた。	3.7	4.0
19		生徒の将来のために、今何ができるかを考えながら指導した。	3.7	3.9
20	もっている力を全力で注いだ。	3.8	3.9	

2. 萩光塩学院の教育の特色について			平均	
			1 学期	3 学期
1	育てる 主体性を	生徒を神から委ねられたものとして受けとめ、ありのままの彼らを、一人の人間として愛し、許し、受け入れ、尊敬の心をもって接した。	3.8	4.1
2		教育活動のねらいが、生徒自身を成長させることであり、教職員はそれを助ける存在であることを理解して取り組んだ。	3.8	3.9
3	かかわる力や態度を養う 自己を他者にひらいて	互いにひらかれた心を持ち、相互の多様性を尊重しつつ協力した。	3.5	3.5
4		生徒・保護者・卒業生及び社会の声に謙虚に耳を傾け、そこから学ぶ姿勢を大切にされた。	3.9	3.7
5		自分の視野を広げ、生徒とともに世界の人権尊重や平和の実現に対する意識を育て、貢献できるよう努力した。	3.2	3.3
6	生き方を促す 神に心をひらく	神が、生徒一人ひとりと私たちを導いてくださる、真の教育者であることを理解するよう努めた。	3.2	3.4
7		萩光塩学院で、祈る心を持ち、謙虚さ、善良さ、誠実さ、平和、人間味あふれる温かい交流などの、精神的深まりを大切にされるものであるよう努めた。	3.7	3.8
8	調和のとれた人格の 発達をめざす	生徒一人ひとりの必要に合わせ、調和のとれた人格の育成のため、個別的で、愛情深いかかわりや指導を実践した。	3.3	3.9
9		教育の充実に不可欠な、教職員間の対話や協力を進めた。	3.3	3.6
10		私たち自身が、人間というものをより広くより深く捉えることができる目を常に養い、自分自身の人間形成の努力を続けた。	3.2	3.4
11	その他	萩光塩学院が、各自の信条・思想を尊重しながら、キリストの精神に生かされた共同体となるように努力した。	3.4	3.5
12		教職員研修などの場でカトリック教育の在り方を学び、建学の精神を発展させた。	3.3	3.6
13		萩光塩学院をより豊かなものにするため、各自の任務の中で、自分の専門分野に精通し、たえず刷新し、熟練するよう努めた。	3.5	3.8
14		卒業生・保護者及びかつて学校にかかわった人々との交流の機会を設け、私たちの伝統である温かい家族的な精神を保ち、育てた。	3.2	3.7